

ト道ニ達スチ軍人有同第ニ半金歸ヘ實績モ來ムハ子ヘテアリ
軍人不同ニキ通報ヘ事業ニ鉛事モ御ハヌヌニハ出職與セテ
地獄ハ玄ニ端メセト。國軍、軍人ニハ恩讐歸與セテハ出職與セテ
本案ハ軍事大會ニ提出シ當風ニ要來シテ來ルヘテ此令ニ
通報、本職、兩口、禁酒

二三、共濟聯合半金歸實績與其詳（百分率）

イ、シテ頂矣

斯般半支味、余皇意見、實績參照シ中央委員會ニ一升又ハニ
代ニ恩案又誰、意長て以モハ國土會選出苦勞ヘ體裁ニヨリ
テベシモ中央委員會ハ立案又ハ聯合表令冊參セシモト。
盟主丑字モ經營、貸付等改和、否セセトヘモ困憊モ即ハ日々
朝士ハ貧々案、内容モ略云セトヒ間ニヨレノ次財產軍艦
本案ハ中央委員會提出案也、自今ハ第二回中央委員會ニ大
本案ニ附シ希望意見

對數半文也

六、綱領勸組合法即時制定要求ノ件（可決）

説明 部主事部川渡村邊保年太之郎助

大會政府、次回會議會ニ勞働爭議調停法會改正案、提出セントラルテ
認サキタル労働爭議調停法ハ労働組合法ガアツテ始メテ十分ニ機能
向會場發揮シ得ルモノアリ、然ルニ政府ハ本末ヲ顛倒シテ居ル
セシ計我々、労働立法ノ點、ハ労働組合法ノ要求テナケレバナラヌ
即チ法律ハ我々ノ團結權ヲ認メテナラヌ、次ニ我々ノ罷業
監督権ヲ認メナケレバナラヌ、之ナクシテハ團結ニ意義ハナイ、
ハ本款ニ團体協約權ノ確認デアル、又労働組合、國家ノ重要ナル
機關デアル此四ツガ労働組合法ノ要點デアル、詳細事項別冊
實績、議案書参照

實行方法

中央委員ニ一任スルト共ニ日本労働組合會議或ハ社大黨ヲ
通ジテ之ガ實現ニ邁進スルコト